audio-technica

ATH-M50xSTS-WL

取扱注意ガイド / ストリーミングヘッドセット

Caution Guide / Streaming Headset

Guide de mise en garde / Casque de streaming

Sicherheitsanweisungen / Streaming-Headset

Guida precauzionale / Cuffie per streaming

Guía de precauciones / Auriculares para streaming

Guia de precauções de segurança / Fones de ouvido para streaming

Руководство по мерам предосторожности / Гарнитура для стриминга

注意事项指南 / 流媒体耳麦

注意事項 / 直播專用耳機麥克風組

주의사항 안내 / 스트리밍 헤드셋

日本語

お買い上げありがとうございます。ご使用の前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。また、いつでもすぐ読める場所に保管しておいてください。

■ 安全上の注意

本製品は安全性に充分な配慮をして設計していますが、使いかたを誤ると事故が起こることがあります。事故を未然に防ぐために下記の内容を必ずお守りください。

危険	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が切迫しています」を意味しています。
警告	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があります」を意味しています。
注意	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う、または物的損害が発生する可能性があります」を意味しています。

■ 本体について

警告

- **本製品を医療機器の近くで使用しない**
  電波が心臓ペースメーカーや医療用電気機器に影響を与える恐れがあります。医療機関の屋内では使用しないでください。
- **航空機内では航空会社の指示に従い適切に使用する**
  電波が影響をおよぼし、誤作動による事故の原因となる恐れがあります。
- **自動ドアや火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しない**
  電波が影響をおよぼし、誤動作による事故の原因となる恐れがあります。
- **分解や改造はしない**
  感電、故障や火災の原因になります。
- **強い衝撃を与えない**
  感電、故障や火災の原因になります。
- **濡れた手で触れない**
  感電やけがの原因になります。
- **異常(音、煙、臭いや発熱、損傷など)に気付いたら使用しない**
  異常に気付いたらすぐに使用を中止して、お買い上げの販売店か当社サービスセンターに修理を依頼してください。
- **水をかけない**
  感電、故障や火災の原因になります。
- **本製品に異物(燃えやすい物、金属、液体など)を入れない**
  感電、故障や火災の原因になります。
- **布などで覆わない**
  過熱による火災やけがの原因になります。
- **自動車、バイク、自転車など、乗り物の運転中は絶対に使用しない**
  交通事故の原因となります。
- **周囲の音が聞こえないと危険な場所(踏切、駅のホーム、工事現場、車や自転車の通る道など)では使用しない**
  事故の原因となります。
- **本製品のバッテリージャックや付属の充電用USBケーブルに水分や異物がついた状態で充電しない**
  腐食・発熱・発煙・発火などによる故障や感電の原因になります。
- **付属の充電用USBケーブルの端子が曲がっていたり、差し込みが緩くなっている状態で充電しない**
  発熱・発煙・発火などによる故障や感電の原因になります。
- **付属の充電用USBケーブル以外で充電しない**
  故障や火災の原因になります。
- **USB電源アダプターやモバイルバッテリーを使用して充電する際、出力電流0.5A(500mA)以上の機器を使用する**
  ただし、急速充電機能(5Vより大きな電圧を出力する)を有する機器で充電しない
  充電ができない、故障の原因になります。

注意

- **大音量で耳を刺激しない**
  耳をあまり刺激しない適度な音量でご使用ください。大音量で長時間聴くと聴力に悪影響を与えることがあります。
- **肌に異常を感じた場合は、使用しない**
  すぐにご使用を中止してください。症状が回復しない場合は、医師の診断を受けてください。
- **ハウジングとアームの間やジョイント部に、指などを挟まない**
  けがや事故の原因になります。

■ 充電式電池について

本製品は、充電式電池(リチウムポリマー電池)を内蔵しています。

危険

- **電池の液が目に入ったときは目をこすらない**
  すぐに水道水などのきれいな水で充分に洗い、医師の診察を受けてください。
- **電池の液が漏れたときは素手で液を触らない**
  液が本製品の内部に残ると故障の原因になります。電池が液漏れを起こした場合は、当社サービスセンターまでご相談ください。
  万一、なめた場合はすぐに水道水などのきれいな水で充分にうがいをし、医師の診察を受けてください。
  皮膚や衣服に付いた場合は、すぐに水で洗い流してください。皮膚に違和感がある場合は医師の診察を受けてください。
- **火の中に入れない、加熱、分解、改造しない**
  液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- **釘を刺したりハンマーで叩いたり踏み付けたりしない**
  発熱、破損、発火の原因になります。
- **落下させたり強い衝撃を与えない**
  液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- **水に濡らさない**
  発熱、破裂、発火の原因になります。
- **以下の場所で使用、放置、保管しない**
  ■直射日光の当たる場所、高温多湿の場所
  ■炎天下の車内　■ストーブなどの熱源の近く
  液漏れ、発熱、破裂、性能低下の原因になります。

■ 内蔵充電式電池について

本製品を充分に充電しても使用時間が短くなった場合は、内蔵充電式電池の寿命が考えられます。その際は当社サービスセンターへご連絡ください。
サービスセンター　0120-887-416
(携帯電話などのご利用は　03-6746-0212)

■ 本製品を廃棄する場合 リサイクルのお願い

本製品は、充電式電池

Li-ion

内蔵充電式電池はリサイクルできます。本製品を廃棄するにあたり、リサイクルにご協力いただける場合は本製品を次の宛先まで着払いにてお送りください。なお、電池を取り出したあとの本製品は返却いたしかねますのであらかじめご了承ください。

送り先：〒915-0003　福井県越前市戸谷町 87-1
株式会社オーディオテクニカフクイ
二次電池回収担当　宛
TEL：0778-25-6736(電池回収専用)

■ 使用上の注意

- ご使用の際は接続機器の取扱説明書も必ずお読みください。
- 万一、接続機器のメモリーなどが消失しても、当社では一切責任を負いません。
- 交通機関や公共の場所では、他の人の迷惑にならないよう、音量にご注意ください。
- 接続する際は、必ず接続機器の音量を最小にしてください。
- 乾燥した場所では耳にピリピリと刺激を感じることがあります。これは人体や接続した機器に蓄積された静電気によるもので本製品の故障ではありません。
- 強い衝撃を与えないでください。
- 直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、高温多湿やほこりの多い場所に置かないでください。また水がかからないようにしてください。
- 本製品は長い間使用すると、紫外線(特に直射日光)や摩擦により変色することがあります。
- 充電用USBケーブルを接続した状態で、本製品をそのままバッグなどに入れると充電用USBケーブルが引っ掛かり、断線や故障の原因になります。
- 充電用USBケーブルを使用する際は、必ずプラグを持って抜き差ししてください。充電用USBケーブルを引っ張ると断線や事故の原因になります。
- 充電用USBケーブルを使用しないときは、必ず本製品から充電用USBケーブルを取り外してください。
- トランシーバーには磁気カードなどを近づけないでください。故障の原因になります。
- パソコンの背面にあるUSBポートにトランシーバーを接続している場合、電波が途切れる場合があります。その際は、パソコンの側面や前面にあるUSBポートに接続してご使用ください。
- ラジオのアンテナ付近で使用すると、ラジオにノイズが入る場合があります。その場合は離して使用してください。
- 内蔵充電式電池を保護するため、半年に一度は充電を行うようにしてください。放置しすぎると充電式電池の持続時間が短くなる、充電しなくなるなどの恐れがあります。
- 本製品を充電する際は、直射日光を避け、風通しの良い場所(10～35℃)で充電してください。電池の劣化を招き、連続使用時間が短くなる、充電ができなくなるなどの恐れがあります。
- 本製品が汗などで濡れている場合は、乾いた布で水分を完全に拭き取ってから充電してください。

■ ワイヤレス製品について

この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか第二世代小電力データ通信システム、移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで第二世代小電力データ通信システム、移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器から別の移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに本製品の電源をお切りください。そのうえで、当社お客様相談窓口にご連絡頂き、混信回避のための処置についてお問い合わせください。
3. その他、この機器から第二世代小電力データ通信システム、移動体識別用の特定小電力無線局またはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合やご不明な点がございましたら当社お客様相談窓口までお問い合わせください。

2.4FH1　この無線機器は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は10mです。

本製品は日本の電波法の技術基準に適合しています。本製品を総務省の許可なしに改造して使用することはできません。これに違反すると法律により罰せられます。

■ ほかの機器との同時使用

Bluetooth搭載機器・無線LANを使用する機器・電子レンジなど、本製品と同一周波数帯(2.4GHz)の電波を使用する機器の影響によって音声が途切れるなど電波干渉による障害が発生することがあります。同様に、本製品の電波がこれらの機器に影響を与える可能性もあるため、下記の点に注意してください。
– 本製品と同一周波数帯(2.4GHz)の電波を使用する機器を離して設置する。
– 病院内では使用しない。

■ 使用可能範囲

トランシーバーから約12mの範囲でご使用いただけます。トランシーバーとヘッドホンの間に障害物がある場合や建物の構造などによっては、使用可能な距離が短くなる場合があります。

■ お手入れのしかた

長くご使用いただくために各部のお手入れをお願いいたします。お手入れの際は、アルコール、シンナーなど溶剤類は使用しないでください。

- 乾いた布で本体の汚れを拭いてください。
- コードが汗などで汚れた場合は、使用後すぐに乾いた布で拭いてください。汚れたまま使用すると、コードが劣化して固くなり、故障の原因になります。
- プラグが汚れた場合は、乾いた布で拭いてください。プラグが汚れたまま使用すると、音とびや雑音が入る場合があります。
- イヤパッド、ヘッドバンドの汚れは乾いた布で拭いてください。イヤパッド、ヘッドバンドに汗または水が付着すると色落ちする場合があります。その際は乾いた布で拭き取り、陰干しすることをおすすめします。

- 長い間ご使用にならない場合は、高温多湿を避け、風通しの良い場所に保管してください。
- イヤパッドは消耗品です。保存や使用により劣化しますので、お早めに交換してください。イヤパッドの交換や、そのほか修理については当社サービスセンターへお問い合わせください。

English

Thank you for purchasing this product. Before using the product, read through the user manual to ensure that you will use the product correctly. Please keep this manual for future reference.

■ Safety precautions

Although this product was designed to be used safely, failing to use it correctly may result in an accident. To ensure safety, observe all warnings and cautions while using the product.

Cautions for the product

- Do not use the product near medical equipment. Radio waves may affect cardiac pacemakers and medical electronic equipment. Do not use the product inside medical facilities.
- When using the product in aircraft, follow airline instructions.
- Do not use the product near automatic control devices such as automatic doors and fire alarms. Radio waves may affect electronic equipment and cause accidents due to malfunction.
- Do not disassemble, modify or attempt to repair the product to avoid electric shock, malfunction or fire.
- Do not subject the product to strong impact to avoid electric shock, malfunction or fire.
- Do not handle the product with wet hands to avoid electric shock or injury.
- Disconnect the product from a device if the product begins to malfunction, producing smoke, odor, heat, unwanted noise or showing other signs of damage. In such a case, contact your local Audio-Technica dealer.
- Do not allow the product to get wet to avoid electric shock or malfunction.
- Do not put foreign matter such as combustible materials, metal, or liquid in the product.
- Do not cover the product with a cloth to avoid fire or injury by overheating.
- Follow applicable laws regarding mobile phone and headphone use if using headphones while driving.
- Do not use the product in places where the inability to hear ambient sound presents a serious risk (such as at railroad crossings, train stations, and construction sites).
- Do not charge the battery if the terminal of the USB charging cable is bent, loose, or damaged. Doing so may cause heat generation, smoke emission, fire or electric shock.
- Do not charge the product if water or foreign matter is inside the battery jack or USB charging cable. Doing so may cause corrosion, heat generation, smoke, fire, or other malfunction or electric shock in the battery jack or USB charging cable.
- To prevent damage to your hearing, do not raise the volume too high. Listening to loud sound for an extended period may cause temporary or permanent hearing loss.
- Discontinue use if skin irritation results from direct contact with the product.
- Do not catch your fingers or other body parts between the housing and the arm or inside the joints.
- When using a commercially sold USB power adapter or power bank for charging, use a device with an output current of 0.5 A (500 mA) or higher. However, do not charge with devices that have quick-charge functionality (with a voltage of 5 V or more). Doing so may cause the product to failure of charging or malfunction.

Cautions for rechargeable battery

The product is equipped with a rechargeable battery (lithium polymer battery).

- If battery fluid gets into eyes, do not rub them. Rinse thoroughly with clean water such as tap water and consult a doctor immediately.
- If battery fluid leaks, do not touch fluid with bare hands. If fluid remains inside the product, it may cause malfunction. If battery fluid leaks, contact your local Audio-Technica dealer.
  – If fluid gets in your mouth, gargle thoroughly with clean water such as tap water and consult a doctor immediately.
  – If your skin or clothing comes in contact with fluid, immediately wash the affected skin or clothing with water. If you experience skin irritation, consult a doctor.
- To avoid leakage, generation of heat or explosion:
  – Never heat, disassemble or modify the battery, nor dispose of it in a fire.
  – Do not attempt to pierce with a nail, hit with a hammer or step on the battery.
  – Do not drop the product or subject it to strong impact.
  – Do not get the battery wet.
- Do not use, leave or store the battery in the following places:
  – Area exposed to direct sunlight or high temperatures and humidity
  – Inside of a car under the blazing sun
  – Near heat sources such as heat registers
- Charge only with the included USB cable to avoid malfunction or fire.
- The internal rechargeable battery of this product cannot be replaced by the user. The battery may have reached the end of its service life if the usage time becomes significantly shorter even after the battery has been fully charged. If this is the case, the battery needs to be repaired. Contact your local Audio-Technica dealer for repair details.
- When the product is disposed of, the built-in rechargeable battery needs to be discarded properly. Contact your local Audio-Technica dealer to learn how to properly dispose of the battery.

For customers in the USA
FCC Notice

Warning

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Caution

You are cautioned that any changes or modifications not expressly approved in this manual could void your authority to operate this equipment.
Note: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:
– Reorient or relocate the receiving antenna.
– Increase the separation between the equipment and receiver.
– Connect the equipment to an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
– Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.
This transmitter must not be co-located or operated in conjunction with any other antenna or transmitter used in other systems.

RF Exposure Statement

This device complies with FCC radiation exposure limits set forth for an uncontrolled environment and meets the FCC radio frequency (RF) Exposure Guidelines. This equipment has very low levels of RF energy that is deemed to comply without testing of specific absorption rate (SAR).

Contact:

Responsible Company: Audio-Technica U.S., Inc.
Address: 1221 Commerce Drive, Stow, Ohio 44224, USA
Tel: 330-686-2600

For customers in Canada
ISED statement

CAN ICES(B)/NMB(B)
This device contains licence-exempt transmitter(s)/receiver(s) that comply with Innovation, Science and Economic Development Canada's licence-exempt RSS(s). Operation is subject to the following two conditions:
(1) This device may not cause interference.
(2) This device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device.
This device complies with RSS-102 radiation exposure limits set forth for an uncontrolled environment.

■ Notes on use

- Be sure to read the connected device's user manual before use.
- Audio-Technica will not be liable in any way for any loss of data in the unlikely event that such losses should occur while using the product.
- On public transportation or in other public places, keep the volume low so as not to disturb other people.
- Minimize the volume on your device before connecting the product.
- When using the product in a dry environment, you may feel a tingling sensation in your ears. This is caused by static electricity accumulated on your body, not by product malfunction.
- Do not subject the product to strong impact.
- Do not store the product in direct sunlight, near heating devices, or in hot, humid, or dusty places. Additionally, do not allow the product to get wet.
- When the product is used for a long time, the product may become discolored due to ultraviolet light (especially direct sunlight) and wear.
- If the product is placed in a bag while the USB charging cable is still connected, the USB charging cable may become caught, severed, or broken.
- Make sure to hold the plug when connecting and disconnecting the USB charging cable. The USB charging cable may become severed or an accident may occur if you pull on the cable itself.
- When you are not using the USB charging cable, disconnect it from the product.
- Do not bring a magnetic card, etc. close to the transceiver. It may cause a malfunction.
- If the transceiver is connected to the USB port on the back of your computer, the radio wave may be interrupted. In that case, connect to the USB port on the side or front of your computer.
- If you use the product near an electronic device or transmitter (such as a mobile phone), unwanted noise may be heard. In this case, move the product away from the electronic device or transmitter.
- If you use the product near a radio antenna, noise may be seen or heard in the radio signal. In this case, move the product away from the radio antenna.
- To protect the built-in rechargeable battery, charge it at least once every 6 months. If too much time passes between charges, the life of the rechargeable battery may be reduced, or the rechargeable battery may no longer be able to be charged.
- Charge the product in a well-ventilated place (10 to 35°C (50 to 95°F)) away from direct sunlight. Otherwise, the battery may deteriorate, possibly resulting in shorter periods of continuous use or may fail to charge.
- If the product is wet with sweat, wipe off any moisture with a dry cloth before charging.

■ Care

Get into the habit of regularly cleaning the product to ensure that it will last for a long time. Do not use alcohol, paint thinners or other solvents for cleaning purposes.

- Use a dry cloth to clean the headphones.
- After using the cable, clean it with a dry cloth if sweat or dirt is present. Failure to clean the cable may cause it to deteriorate and harden over time, resulting in malfunction.
- Wipe the cable's plug with a dry cloth if dirty. Using the plug without cleaning it can cause sound interruption or distortion.
- To clean the earpads and headband, wipe with a dry cloth. Earpads and headpad may fade if sweat or water dries on them. If the earpads and headband get wet, we recommend wiping them with a dry cloth and allowing them to dry in the shade.

- For long-term storage, keep the product in a well-ventilated place without high temperatures and humidity.
- The earpads deteriorate over time due to use or storage. For information about replacing earpads or other parts, or for information about other serviceable parts, contact your local Audio-Technica dealer.

Français

Nous vous remercions d'avoir choisi ce produit. Avant utilisation, merci de lire attentivement ce manuel pour vous assurer du bon usage du produit. Veuillez conserver ce manuel pour consultation ultérieure.

■ Consignes de sécurité

Bien que la conception de ce produit garantisse la sécurité d'utilisation, une utilisation incorrecte peut entraîner un accident. Pour assurer la sécurité, respectez l'ensemble des avertissements et mises en garde lorsque vous utilisez le produit.

Mises en garde concernant le produit

- N'utilisez pas le produit à proximité d'un équipement médical. Les ondes radio peuvent affecter les stimulateurs cardiaques et les appareils électroniques médicaux. N'utilisez pas le produit dans un établissement hospitalier.
- Si vous utilisez le produit dans un avion, conformez-vous aux instructions de la compagnie aérienne.
- N'utilisez pas le produit à proximité d'appareils à commande automatique, comme des portes automatiques ou des alarmes incendie. Les ondes radio peuvent affecter les appareils électroniques et provoquer des accidents suite à un dysfonctionnement.
- Ne démontez pas, ne modifiez pas ou n'essayez pas de réparer le produit pour éviter tout risque d'électrocution, de dysfonctionnement ou d'incendie.
- Ne soumettez pas le produit à un choc violent pour éviter tout risque d'électrocution, de dysfonctionnement ou d'incendie.
- Ne manipulez pas le produit avec les mains mouillées pour éviter tout risque d'électrocution ou de blessure.
- Déconnectez le produit s'il commence à présenter des dysfonctionnements, à émettre de la fumée, une odeur, de la chaleur, des bruits indésirables ou à présenter d'autres signes de dommage. Le cas échéant, prenez contact avec votre revendeur local Audio-Technica.
- Ne mouillez pas le produit pour éviter tout risque d'électrocution ou de dysfonctionnement.
- N'introduisez pas de corps étrangers comme des matériaux combustibles, du métal ou un liquide dans le produit.
- Ne recouvrez pas le produit avec un chiffon car cela entraînerait un risque d'incendie ou de blessure suite à une surchauffe.
- Respectez les lois en vigueur concernant l'utilisation de téléphones mobiles et casques si vous utilisez le casque en conduisant.
- N'utilisez pas le produit dans des endroits où l'incapacité à entendre les sons ambiants présente un risque grave (tels qu'un passage à niveau, une gare ferroviaire et des chantiers).
- Ne rechargez pas la batterie si la borne du câble de recharge USB est pliée, desserrée ou endommagée. Cela pourrait entrainer une production de chaleur, une émission de fumée, un incendie ou un choc électrique.
- Ne chargez pas le produit si de l'eau ou un corps étranger se trouve à l'intérieur de la prise jack pour batterie ou du câble de recharge USB. Cela pourrait provoquer de la corrosion, de la production de chaleur, de la fumée, un incendie ou tout autre dysfonctionnement ou choc électrique dans la prise jack pour batterie ou le câble de recharge USB.
- Pour éviter d'endommager votre ouïe, n'augmentez pas trop le volume. L'écoute prolongée de sons forts peut provoquer une perte auditive temporaire ou permanente.
- Cessez d'utiliser le produit en cas d'irritation cutanée découlant d'un contact direct avec celui-ci.
- Ne coincez pas vos doigts ou d'autres parties du corps entre la coque et le bras ou à l'intérieur des articulations.
- Lorsque vous utilisez un adaptateur secteur USB ou une batterie externe vendus dans le commerce pour la charge, privilégiez un appareil avec un courant de sortie d'au moins 0,5 A (500 mA). Par contre, évitez d'effectuer la charge avec des appareils ayant une fonction de charge rapide (tension de 5 V ou plus). Le produit risquerait alors de ne pas se charger ou fonctionner correctement.

Mises en garde relative à la batterie rechargeable

Le produit est doté d'une batterie rechargeable (batterie Lithium-Polymère (LiPo)).

- Si le liquide de batterie pénètre dans vos yeux, ne les frottez pas. Rincez abondamment à l'eau claire, l'eau du robinet par exemple, et consultez immédiatement un médecin.
- En cas de fuite du liquide de batterie, ne le touchez pas les mains nues. Si le liquide reste à l'intérieur du produit, cela peut provoquer un dysfonctionnement. En cas de fuite du liquide de batterie, prenez contact avec votre revendeur local Audio-Technica.
  – Si le liquide pénètre dans votre bouche, rincez-vous abondamment la bouche à l'eau claire, l'eau du robinet par exemple, et consultez immédiatement un médecin.
  – Si le liquide entre en contact avec votre peau ou vos vêtements, lavez immédiatement la zone affectée avec de l'eau. En cas d'irritation cutanée, consultez un médecin.
- Pour éviter les fuites, l'émission de chaleur ou une explosion:
  – Ne jamais chauffer, démonter ou modifier la batterie, ni la jeter au feu.
  – N'essayez pas de percer la batterie avec un clou, de la frapper avec un marteau ou de marcher dessus.
  – Ne laissez pas tomber le produit et ne le soumettez pas à un impact fort.
  – Veillez à ne pas mouiller la batterie.
- Abstenez-vous d'utiliser, laisser ou ranger la batterie dans les endroits suivants:
  – Zone exposée à un ensoleillement direct ou à des températures ou une humidité élevée(s)
  – À l'intérieur d'une voiture sous un soleil de plomb
  – Près de sources de chaleur ou d'appareils de chauffage
- La recharge ne doit être faite qu'avec le câble USB fourni pour éviter un dysfonctionnement ou un incendie.
- L'utilisateur ne peut pas remplacer lui-même la batterie interne rechargeable de ce produit. Il se peut que la batterie ait atteint la fin de sa vie utile si la durée d'utilisation raccourcit considérablement même si la batterie est complètement chargée. Si tel est le cas, la batterie doit être réparée. Contactez votre revendeur local Audio-Technica pour les détails de la réparation.
- Lors de l'élimination du produit, la batterie rechargeable intégrée doit être mise au rebut de manière appropriée. Contactez votre revendeur local Audio-Technica pour savoir comment éliminer correctement la batterie.

À l'attention des clients aux États-Unis
Avis de la FCC

Avertissement

Cet appareil est conforme à la Partie 15 du règlement de la FCC. Son fonctionnement est soumis aux deux conditions suivantes : (1) Cet appareil ne doit pas causer d'interférence nocive et (2) cet appareil doit accepter les interférences reçues, y compris les interférences pouvant provoquer un fonctionnement indésirable.

Mise en garde

Vous êtes averti que tout changement ou modification non expressément approuvée dans ce manuel est susceptible d'annuler votre droit d'utilisation de cet appareil.
Remarque: Cet appareil a fait l'objet de tests afin de vérifier sa conformité avec les limites relatives aux appareils numériques de classe B, conformément à la partie 15 du règlement de la FCC. Ces limites ont pour vocation d'offrir une protection raisonnable contre les interférences nocives en installation résidentielle. Cet appareil génère, utilise et peut émettre des fréquences radioélectriques et provoquer, en cas d'installation et d'utilisation non conformes aux instructions, des interférences préjudiciables à la réception des signaux radio. Toutefois, il n'y a pas de garantie que des interférences ne se produiront pas dans une installation particulière. Si l'appareil provoque des interférences préjudiciables à la réception radio ou télévisée, ce qui peut être déterminé en éteignant et allumant l'appareil, l'utilisateur est invité à essayer d'y remédier en prenant une ou plusieurs des mesures suivantes:
– Réorienter ou déplacer l'antenne réceptrice.
– Augmenter la séparation entre l'appareil et le récepteur.
– Brancher l'appareil dans une prise, sur un circuit différent de celui auquel est raccordé le récepteur.
– Demander de l'aide au revendeur ou à un technicien radio/TV qualifié.
Ce transmetteur ne doit pas être placé ou opéré en conjonction avec tout autre transmetteur ou antenne utilisés dans d'autres systèmes.

Déclaration d'exposition aux radiofréquences

Cet appareil est conforme aux limites d'exposition concernant l'exposition aux radiations établies par la FCC dans un environnement non contrôlé et satisfait les directives d'exposition aux radiofréquences (RF) de la FCC. Cet équipement présente de très faibles niveaux d'énergie de radiofréquence, il est considéré conforme sans tester le débit d'absorption spécifique (DAS).

Contact :

Entreprise responsable : Audio-Technica U.S., Inc.
Adresse : 1221 Commerce Drive, Stow, Ohio 44224, USA
Tél : 330-686-2600

À l'attention des clients au Canada
Déclaration de conformité ISDE

CAN ICES(B)/NMB(B)
L'appareil contient un ou plusieurs transmetteurs/récepteurs exempts de licence qui sont conformes aux CNR d'Innovation, Sciences et Développement économique Canada applicables aux appareils radio exempts de licence. L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes :
(1) L'appareil ne doit pas produire de brouillage.
(2) L'utilisateur de l'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'en compromettre le fonctionnement.
Cet appareil est conforme aux limites d'exposition aux rayonnements RSS-102 établies pour un environnement non contrôlé.

■ Remarques concernant l'utilisation

- Veillez à lire le manuel de l'utilisateur de l'appareil connecté avant toute utilisation.
- Audio-Technica ne pourra en aucun cas être tenu responsable des pertes de données dans le cas peu probable que de telles pertes se produisent lors de l'utilisation du produit.
- Dans les transports ou d'autres lieux publics, veillez à baisser le volume afin de ne pas déranger les autres personnes.
- Baissez le volume au maximum sur votre appareil avant de connecter le produit.
- Si vous utilisez le produit dans une atmosphère sèche, vous pouvez ressentir des picotements dans les oreilles. Ceci est dû à l'électricité statique accumulée sur votre corps et non à un dysfonctionnement du produit.
- Ne soumettez pas le produit à un impact fort.
- Ne laissez pas le produit exposé à l'ensoleillement direct, près d'appareils générant de la chaleur ou dans un endroit chaud, humide ou poussiéreux. Ne laissez pas non plus le casque exposé aux liquides et aux éclaboussures.
- Si vous utilisez longtemps le produit, il peut se décolorer en raison de la lumière ultraviolette (particulièrement sous un ensoleillement direct) et de l'usure.
- Si vous placez le produit dans un sac alors que le câble de chargement USB est encore connecté, le câble de chargement USB peut se coincer, être coupé ou cassé.
- Veillez à tenir le câble par la prise lorsque vous connectez ou déconnectez le câble de recharge USB. Le câble de recharge USB peut se couper ou un accident peut se produire si vous tirez sur le câble lui-même.
- Si vous n'utilisez pas le câble de recharge USB, déconnectez-le du produit.
- Bringen Sie keine magnetischen Karten usw. in die Nähe des Transceivers. Dies kann zu Fehlfunktionen führen.
- Wenn der Transceiver an den USB-Anschluss auf der Rückseite Ihres Computers angeschlossen ist, wird die Funkwelle möglicherweise unterbrochen. Schließen Sie in diesem Fall den Transceiver an den USB-Anschluss an der Seite oder Vorderseite Ihres Computers an.
- Si vous utilisez le produit près d'un appareil électronique ou d'un émetteur (comme un téléphone mobile), il se peut que vous entendiez du bruit indésirable. Dans ce cas, éloignez le produit de l'appareil électronique ou de l'émetteur.
- Si vous utilisez le produit près d'une antenne radio, du bruit peut être vu ou entendu dans le signal de la radio. Dans ce cas, éloignez le produit de l'antenne radio.
- Pour protéger la batterie rechargeable intégrée, chargez-la au moins une fois tous les 6 mois. S'il s'écoule trop de temps entre les recharges, la durée de vie de la batterie rechargeable peut être réduite, ou la batterie rechargeable risque de ne plus pouvoir être rechargée.
- Rechargez le produit dans un endroit aéré (10 à 35 °C) à l'abri de l'ensoleillement direct. Les performances de la batterie risquent sinon de se dégrader, réduisant éventuellement les périodes d'utilisation continue ou empêchant la recharge.
- Si le produit est mouillé par la sueur, essuyez toute l'humidité avec un chiffon sec avant de le recharger.

■ Entretien

Prenez l'habitude de nettoyer régulièrement le produit pour lui assurer une longue durée de vie. N'utilisez pas d'alcool, de diluant à peinture ou d'autres solvants pour le nettoyage.

- Utilisez un chiffon sec pour nettoyer le casque.
- Après avoir utilisé le câble, nettoyez-le avec un chiffon sec en cas de présence de sueur ou de saleté. Si vous ne nettoyez pas le câble, il risque de se détériorer et de durcir avec le temps, et de provoquer des dysfonctionnements.
- Essuyez la fiche du câble avec un chiffon sec si elle est sale. Si vous utilisez une fiche sans la nettoyer, le son peut subir des interruptions ou des distorsions.
- Pour nettoyer les coussinets d'oreille et le serre-tête, essuyez-les avec un chiffon sec. Les coussinets d'oreille et le serre-tête peuvent se décolorer si de la sueur ou de l'eau sèche dessus. Si les coussinets d'oreille et le serre-tête sont mouillés, nous vous recommandons de les essuyer avec un chiffon sec et de les laisser sécher à l'ombre.

- Si vous prévoyez de ranger le produit pendant une période prolongée, conservez-le dans un endroit bien aéré à l'abri de températures ou humidité élevée(s).
- Les coussinets d'oreille se détériorent avec le temps suite à l'utilisation ou au rangement. Pour des informations sur le remplacement des coussinets d'oreille ou d'autres pièces, ou pour en savoir plus sur les pièces réparables, contactez votre revendeur local Audio-Technica.

Русский

Благодарим Вас за приобретение данного изделия. Перед использованием изделия внимательно прочтите руководство пользователя, чтобы обеспечить правильную эксплуатацию изделия. Сохраните данное руководство для использования в будущем.

■ Меры предосторожности

Несмотря на то что изделие изготовлено с учетом требований безопасной эксплуатации, его неправильное использование может стать причиной несчастного случая. С целью обеспечения безопасности при эксплуатации изделия требуется соблюдать все предупреждающие и предостерегающие указания.

Предостережения относительно изделия

- Запрещается использовать данное изделие рядом с медицинским оборудованием. Радиоволны могут оказать влияние на кардиостимуляторы и медицинское электронное оборудование. Запрещается использовать данное изделие в медицинских учреждениях.
- Используя изделие в самолете, придерживайтесь указаний авиакомпании.
- Запрещается использовать данное изделие рядом с устройствами автоматического управления, например автоматическими дверями и пожарными сигнализациями. Радиоволны могут оказать влияние на электронное оборудование и привести к несчастным случаям в результате нарушения его работы.
- Не разбирайте, не модифицируйте и не пытайтесь отремонтировать изделие во избежание поражения электрическим током, нарушения работы или возгорания.
- Не подвергайте изделие сильным ударам во избежание поражения электрическим током, нарушения работы или возгорания.
- Не беритесь за изделие влажными руками во избежание поражения электрическим током или получения травмы.
- Отсоедините изделие от устройства, если изделие функционирует неправильно, при его работе выделяется дым, неприятный запах, тепло или ненужный шум, а также наблюдаются другие признаки повреждения. В таком случае обратитесь к местному дилеру компании Audio-Technica.
- Не допускайте попадания на изделие влаги во избежание поражения электрическим током или нарушения работы.
- Не допускайте попадания в изделие посторонних предметов, например горючих материалов, металла или жидкости.
- Не накрывайте изделие одеждой во избежание возгорания или получения травмы в результате перегрева.
- Выполняйте соответствующие законы, касающиеся использования мобильных телефонов и наушников при использовании наушников во время управления автомобилем.
- Не используйте изделие в местах, где неспособность слышать звуковое окружение создает серьезный риск (например, на железнодорожных переездах, вокзалах и строительных площадках).
- Не заряжайте батарею, если коннектор USB-кабеля для зарядки деформирован, не зафиксирован или поврежден. В противном случае возможен нагрев устройства, а также возникновение дыма, огня или удар электрическим током.
- Не заряжайте изделие, если внутри разъема батареи или USB-кабеля для зарядки находится влага или посторонний предмет. В противном случае возможна коррозия, нагрев устройства, появление дыма, возгорание, иная неисправность разъема батареи или USB-кабеля для зарядки либо поражение электрическим током.
- Во избежание нарушения слуха не устанавливайте слишком высокую громкость. Прослушивание на высокой громкости в течение длительного времени может привести к временной или постоянной потере слуха.
- Прекратите использование при возникновении раздражения кожи в результате прямого контакта с изделием.
- Будьте внимательны, чтобы не защемить пальцы или другие части тела между корпусом и дужкой или в шарнирных соединениях.
- Если для зарядки используется доступный в продаже адаптер питания USB или портативное зарядное устройство, используйте устройство с выходным током 0,5 А (500 мА) или выше. Однако не используйте их для зарядки устройств с функцией быстрой зарядки (напряжение зарядки 5 В или выше). Это может привести к сбою зарядки или неисправности изделия.

Предостережения относительно аккумулятора

Данное изделие оснащено аккумулятором (литий-полимерной батареей).

- Не трите глаза при попадании в них электролита. Тщательно промойте их чистой водой (например, водопроводной) и немедленно обратитесь к врачу.
- В случае утечки электролита не прикасайтесь к нему голыми руками. Если электролит останется внутри изделия, это может привести к неисправности. В случае утечки электролита обратитесь к местному дилеру компании Audio-Technica.
  - При попадании электролита в рот тщательно промойте его чистой водой (например, водопроводной) и немедленно обратитесь к врачу.
  - При попадании электролита на кожу или одежду немедленно промойте этот участок кожи или одежды водой. При возникновении раздражения кожи обратитесь к врачу.
- Меры по предотвращению утечки электролита, выделения тепла или взрыва:
  - Ни в коем случае не нагревайте, не разбирайте и не модифицируйте батарею, а также не выбрасывайте ее в огонь.
  - Не пытайтесь пробить батарею гвоздем, разбить молотком или наступить на нее.
  - Не роняйте изделие и не подвергайте его сильным ударам.
  - Следите за тем, чтобы батарея не намокла.
- Не используйте, не оставляйте и не храните батарею в следующих местах:
  - в местах, находящихся под воздействием прямого солнечного света или высоких температур и влажности;
  - внутри автомобиля под ослепительным солнцем;
  - вблизи источников тепла, например обогревателей.
- Во избежание нарушения работы или возгорания выполняйте зарядку только с помощью прилагаемого USB-кабеля.
- Встроенный аккумулятор данного изделия нельзя заменять самостоятельно. Если время использования значительно сократилось, даже если батарея полностью заряжена, возможно, срок эксплуатации батареи истек. В этом случае батарея подлежит ремонту. Чтобы получить сведения о ремонте, обратитесь к местному дилеру компании Audio-Technica.
- При утилизации изделия, встроенный аккумулятор следует утилизировать надлежащим образом. Чтобы получить сведения о надлежащей утилизации батареи, обратитесь к местному дилеру компании Audio-Technica.

Для пользователей в США
Уведомление FCC

Предупреждение
Данное устройство соответствует требованиям Раздела 15 Правил Федеральной комиссии по связи (FCC). Эксплуатация осуществляется при соблюдении приведенных ниже двух условий. (1) Данное устройство не должно создавать недопустимых помех, и (2) данное устройство должно противостоять любым принимаемым помехам, включая помехи, которые могут вызывать нарушения при эксплуатации.

Предостережения
Вы предупреждены о том, что любые изменения или модификации, в явной форме не разрешенные в данном руководстве, могут привести к аннулированию вашего права на эксплуатацию данного оборудования.
Примечание: Данное оборудование было протестировано и признано соответствующим ограничениям для цифрового устройства Класса B согласно раздела 15 Правил FCC. Данные ограничения предназначены для обеспечения надлежащей защиты от недопустимых помех при установке в жилых помещениях. Данное оборудование генерирует, использует и может излучать энергию электромагнитного излучения, которая, в случае нарушения данных инструкций при установке и использовании, может создавать недопустимые помехи для радиосвязи. Однако не существует гарантий того, что помехи не возникнут при определенной установке. Если данное оборудование вызывает недопустимые помехи во время радио или телевизионного приема, что можно определить путем его выключения и включения, пользователь может попытаться устранить эти помехи с помощью одной или нескольких мер, указанных ниже.
- Измените ориентацию или положение принимающей антенны.
- Увеличьте расстояние между оборудованием и приемником.
- Подключите оборудование к розетке в цепи, отличной от той, к которой подключен приемник.
- Обратитесь к дилеру или квалифицированному специалисту по обслуживанию радио/телевизионной техники.

Данный передатчик не должен находиться рядом или эксплуатироваться с какой-либо другой антенной или передатчиком, используемым в других системах.

Заявление об РЧ облучении
Данное устройство соответствует ограничениям радиоактивного облучения FCC, установленным для неуправляемой среды, и руководствам радиочастотного (РЧ) облучения FCC. Уровень РЧ энергии данного оборудования очень низкий, поэтому оно считается соответствующим без определения удельной мощности поглощения (SAR).

Контакты:
Ответственная компания: Audio-Technica U.S., Inc.
Адрес: 1221 Commerce Drive, Stow, Ohio 44224, USA (США)
Тел: 330-686-2600

Для пользователей в Канаде
Заявление Министерства промышленности Канады (ISED)
CAN ICES(B)/NMB(B)
Это устройство содержит передатчик(-и)/приемник(-и), не требующие лицензии, которые соответствуют требованиям RSS-стандартов Министерства промышленности Канады для нелицензируемого оборудования. Эксплуатация осуществляется при соблюдении приведенных ниже двух условий:
(1) Это устройство не должно создавать недопустимых помех.
(2) Это устройство должно воспринимать любые помехи, в том числе помехи, которые могут вызывать нежелательную работу устройства.
Данное устройство соответствует ограничениям радиоактивного облучения RSS-102, установленным для неуправляемой среды.

■ Примечания относительно использования

- Обязательно прочтите руководство пользователя подсоединенного устройства перед его эксплуатацией.
- Компания Audio-Technica никоим образом не несет ответственности за любые потери данных в случае возникновения такого маловероятного события во время использования данного изделия.
- Не превышайте громкость в общественном транспорте или других общественных местах, чтобы не мешать другим людям.
- Перед подсоединением этого изделия снизьте до минимума громкость своего устройства.
- При использовании данного изделия в сухой окружающей среде в ушах может возникать покалывающее ощущение. Это вызвано статическим электричеством, накапливающимся на вашем теле, а не нарушением работы изделия.
- Не подвергайте изделие сильным ударам.
- Не храните изделие под прямым солнечным светом, рядом с нагревательными приборами либо в жарких, влажных или пыльных местах. Кроме того, не позволяйте изделию намокать.
- При использовании изделия в течение длительного времени возможно его обесцвечивание под воздействием ультрафиолетового света (особенно под прямым солнечным светом) и изнашивания.
- Если изделие помещается в футляр с подсоединенным USB-кабелем для зарядки, то возможны защемление, пережатие или обрыв кабеля.
- Подсоединяйте и отсоединяйте прилагаемый USB-кабель для зарядки, взявшись за штекер. Если потянуть непосредственно за прилагаемый USB-кабель для зарядки, это может привести к его обрыву или несчастному случаю.
- Обязательно отсоединяйте прилагаемый USB-кабель для зарядки от изделия, если он не используется.
- Не подносите магнитные карты и похожие предметы близко к передатчику. Это может привести к нарушению его работы.
- Если передатчик вставлен в USB-порт, расположенный на задней панели компьютера, при приеме радиоволн могут возникать помехи. В таком случае вставьте его в USB-порт, расположенный на боковой или передней панели компьютера.
- Если изделие используется возле электронного устройства или передатчика (например, мобильного телефона), могут возникать помехи. В этом случае отодвиньте изделие от электронного устройства или передатчика.
- Если изделие используется рядом с радиоантенной, то в радиосигнале могут возникать помехи. В этом случае отодвиньте изделие от радиоантенны.
- Для защиты встроенного аккумулятора заряжайте его по крайней мере один раз в 6 месяцев. Если между зарядками проходит слишком много времени, срок эксплуатации аккумулятора может уменьшиться либо аккумулятор может не заряжаться.
- Заряжайте изделие в хорошо вентилируемом месте (10–35 °C) вдали от прямого солнечного света. Несоблюдение этого правила может привести к ухудшению эксплуатационных характеристик батареи, в частности, к уменьшению объема заряда или невозможности зарядки.
- Если изделие влажное от пота, сотрите влагу сухой тряпкой перед зарядкой.

Для пользователей в ЕАЭС
Изготовитель: Аудио-Техника Лтд.
Адрес предприятия-изготовителя:
194-8666 Токио Мачида Ниси Нарусе 2-46-1
Сделано в Тайване

■ Уход

Регулярно очищайте изделие для обеспечения длительного срока его эксплуатации. Не используйте для очистки спирт, разбавители для краски или другие растворители.

- Используйте сухую ткань для очистки наушников.
- После использования кабеля очистите его сухой тканью, если на нем присутствует пот или загрязнения. Если не очищать кабель, со временем это может привести к нарушению его работы из-за ухудшения характеристик и отвердевания.
- В случае загрязнения вытрите штекер кабеля сухой тканью. Использование загрязненного штекера может привести к прерыванию или дисторсии звука.
- Для очистки амбушюров и подкладки оголовья используйте сухую ткань. Амбушюры и подкладка оголовья могут потемнеть, если на них высыхает пот или вода. Если амбушюры и подкладка оголовья намокли, мы рекомендуем вытереть их сухой тканью и просушить в тени.

- В случае длительного хранения поместите изделие в хорошо вентилируемое место, не находящееся под воздействием высоких темпераатур и влажности.
- Со временем подушечки для наушников теряют свои свойства в результате использования или хранения. Чтобы получить информацию о замене подушечек для наушников или других деталей либо информацию о других обслуживаемых деталях, обратитесь к местному дилеру компании Audio-Technica.

简体中文

感谢您购买本产品。在使用产品之前，请全文浏览本用户手册以确保您将正确地使用本产品。请妥善保管本手册以供将来参考。

■ 安全预防措施

虽然本产品采用安全设计，但使用不当仍可能发生事故。为了确保安全，使用本产品时请注意全部警告和提醒。

产品注意事项

- 请勿在医疗设备附近使用本产品。无线电波可能会影响心脏起搏器和医疗电子设备。请勿在医疗设施内使用本产品。
- 在飞机上使用本产品时，请遵守航空公司规定。
- 请勿在自动门、火警报警器等自动控制装置附近使用本产品。无线电波可能会导致电子设备发生故障而引发严重事故。
- 请勿拆开、改装或尝试修理本产品，以免发生触电，导致故障或引发火灾。
- 请勿使产品受到强烈冲击，以免发生触电，导致故障或引发火灾。
- 请勿用潮湿的手操作本产品，以免发生触电或导致受伤。
- 如果本产品出现故障，冒烟、异味、发热、杂音或损坏迹象，请断开其与设备的连接。在这种情况下，请联系当地"铁三角"经销商。
- 请勿使本产品受潮，以免发生触电或导致故障。
- 请勿在本产品中放置不相干的物质，如可燃材料，金属或液体。
- 请勿用布覆盖本产品，以免由于过热引发火灾或导致受伤。
- 如果在驾车时使用耳机，请遵守有关使用移动电话和耳机的适用法律。
- 请勿在因听不到声音而可能导致严重危险的环境下使用本产品（例如在铁路道口、火车站和建筑工地）。
- 如果USB充电线端子弯曲、松动或损坏，请勿对电池充电。否则可能会产生热量、冒烟、起火或触电。
- 如果充电接口或USB充电线中有水渍或异物，请勿对本产品充电。否则可能会导致充电接口或USB充电线锈蚀、产生热量、冒烟、起火、其他故障或触电。
- 为了防止损害您的听力，请勿将声音开得过高。长期听很大的声音可能会造成暂时或永久性的听力损伤。
- 如果因为直接与产品接触造成皮肤刺激，请勿继续使用。
- 别让外壳与臂杆之间或连接处夹到您的手指或身体其他部位。
- 使用市售USB电源适配器或移动电源进行充电时，请使用输出电流为0.5A（500mA）或更大的设备。但是，请勿使用快充设备（5V或更高电压）充电。否则可能导致本产品无法充电或出现故障。

可充电电池注意事项

- 本产品配备有一块可充电电池（聚合物锂电池）。
- 如果电池液进入眼睛，请勿揉搓。应用洁净的水（如自来水）彻底冲洗并立即就医。
- 如果电池液泄漏，请勿用手接触液体。如果液体留在产品内，可能会导致故障。如果电池液泄漏，请联系当地"铁三角"经销商。
  - 如果电池液进入您的口中，应用洁净的水（如自来水）反复漱洗并立即就医。
  - 如果您的皮肤或衣服沾到了液体，立即用水清洗受到影响的皮肤或衣服。如果您感到皮肤刺激，请就医。
- 为避免泄漏，产生热量或引起爆炸：
  - 切勿加热、拆卸或改装电池，也不要将其靠近火源。
  - 请勿试图用钉子刺穿，用锤子打或踩在电池上。
  - 请勿摔本产品或使之受到强烈冲击。
  - 请勿使电池受潮。
- 请勿在下述场所使用，遗留或存放电池：
  - 暴露在阳光直射下或高温、潮湿的地方
  - 暴露在烈日直射下的车内
  - 靠近如热风调节器等热源
- 请仅使用随附 USB 线来充电，以避免出现故障或引发火灾。
- 用户无法自行更换本产品的内部可充电电池。若电池已充满电后，使用时间明显缩短，这说明电池可能已达到其使用寿命。如果出现这种情况，需要维修电池。关于维修的详情，请联系当地"铁三角"经销商。
- 处理本产品时，内置的可充电电池需要妥善处理。请联系当地"铁三角"经销商，咨询电池的正确处理方法。

针对美国用户
FCC声明

警告
本设备符合FCC规则第15部分的要求。其运行应符合以下两个条件：(1) 本设备不得造成有害干扰，以及(2)本设备必须承受任何干扰，包括可能导致意外运行的干扰。

注意
请注意，任何进行本说明书中未明确许可的改动或改装，都可能导致用户丧失使用本设备的权利。
注： 本设备已经过测试，证实符合FCC规则第15部分之B类数字设备的限制要求。这些限制旨在提供合理的保护，以防在一般住宅环境中造成有害干扰。本设备会产生、使用和发射射频能量，若未依照指示安装及使用，可能会对无线电通信产生有害干扰。然后，并不保证在特定安装方式下不会产生干扰。如果本设备对无线电或电视接收产生有害干扰（可通过开、关设备判定），建议用户尝试采取以下一项或多项措施来排除此干扰：
- 调整接收天线的方向或位置。
- 增大设备和接收器之间的间距。
- 将设备和接收器分别连接到不同的电路插座上。
- 咨询经销商或经验丰富的无线电/电视技术人员寻求帮助。

本发射机不得与其他系统中使用的任何其他天线或发射器协同工作或一起操作。

射频暴露声明
本设备符合FCC针对未受控制环境所制定的辐射暴露限制，并符合FCC射频（RF）暴露规范。本设备的射频能量极低，被视为无需对特定吸收率（SAR）进行测试便符合要求。

联系方式：
责任公司：Audio-Technica U.S., Inc.
地址：1221 Commerce Drive, Stow, Ohio 44224, USA
电话：330-686-2600

针对加拿大用户
加拿大创新、科学与经济发展部（ISED）声明
CAN ICES(B)/NMB(B)
本设备包含免许可发射机/接收机，符合加拿大创新、科学与经济发展部的免许可RSS。其运行应符合以下两个条件：
(1)本设备不得造成干扰。
(2)本设备必须承受任何干扰，包括可能导致设备意外运行的干扰。
本设备符合针对未受控环境所制定之RSS-102射频暴露限制。

■ 使用注意事项

- 请在使用前阅读所连接设备的用户手册。
- 对于在使用本产品时发生的意外事件所引起的数据丢失，铁三角将不会以任何方式负责。
- 在公共交通工具或其他公共场所，请保持声音较低以免打扰到其他人。
- 请在连接本产品之前将设备的音量调到最低。
- 在干燥环境之下使用本产品时，您可能会感觉到耳朵里有一种刺痛感。这是由您身体内积累的静电导致的，而非产品故障所致。
- 请勿使本产品受到强烈冲击。
- 请勿在阳光直射下，加热装置附近或在炎热、潮湿或灰尘多的地方存放本产品。此外，请勿使本产品受潮。
- 当本产品使用较长一段时间后，可能会因为紫外线（尤其是阳光直射）和磨损而褪色。
- 如果在仍连接USB充电线的状态下将本产品放在袋子里，USB充电线可能会缠住、断掉或断线。
- 连接或拔出USB充电线时，请务必捏住插头。用力拉扯USB充电线可能导致连接线被扯断或出现意外情况。
- 不使用USB充电线时请将其从本产品中拔出。
- 请勿让磁卡等物品靠近收发器。否则可能导致故障。
- 如果收发器连接至计算机背面的USB端口，无线电波可能会中断。在这种情况下，请连接至计算机侧面或正面的USB端口。
- 如果您在电子设备或发射机（如移动电话）附近使用本产品，则可能会听到多余的噪音。在这种情况下，将本产品远离电子设备或发射机。
- 如果您在无线电天线附近使用本产品，则可能会在无线电中看到或听到信号噪音。在这种情况下，将本产品远离无线电天线。
- 为保护内置可充电电池，每6个月至少充电一次。如果两次充电时间间隔太久，可能会缩短可充电电池的使用寿命或可能无法充电。
- 请在通风良好的地方（10至35°C）为本产品充电，避免阳光直射。否则可能导致电池劣化，连续使用寿命缩短或无法再为电池充电。
- 如果本产品沾有汗水，充电前请使用干布擦去水气。

■ 保养

养成定期清洁本产品的习惯，以确保产品可长时间使用。请勿使用酒精，油漆稀释剂或其他溶剂来清洁耳机。

- 用一块干布清洁耳机。
- 使用连接线后，如有汗水或脏污，请用干布擦拭。连接线如未清洁干净可能会导致劣化，并随着时间的推移逐渐硬化，导致发生故障。
- 如果发现连接线的插头有污垢，请用干布擦拭。使用未清洁的插头会造成断声或失真。
- 用一块干布擦拭以清洁耳垫和头戴型耳罩。如果汗或水在上面干掉，耳垫和头戴型耳罩可能会褪色。如果耳垫和头戴型耳罩受潮，我们建议您用一块干布擦拭它们，并让它们在阴凉处晾干。

- 针对长期储存，请将本产品放在一个通风良好，远离高温潮湿的地方。
- 随着长期使用或储存情况耳垫会劣化。关于更换耳垫或其他零件的信息，或是关于其他可服务零件的信息，请联系当地"铁三角"经销商。

繁體中文

感謝您購買本商品。使用前，請務必詳閱本使用說明書，確保以正確的方式使用本產品。請妥善保存本說明書以備隨時參閱。

■ 安全上的注意事項

雖然本產品採用安全設計，但使用不當仍可能引起事故。為防範事故於未然，使用本產品時請務必遵守下記事項。

本產品注意事項

- 請勿於醫療設備附近使用本產品。無線電波可能會影響心律調節器和醫療電子設備。請勿於醫療設施內使用本產品。
- 於飛機上使用本產品時，請遵守航空公司的說明。
- 請勿於自動門和火災警報器等自動控制裝置附近使用本產品。無線電波可能影響電子設備，導致設備故障而引起意外事故。
- 請勿拆解、改造或試圖修理本產品，以免發生觸電，導致故障或引發火災。
- 請勿使本產品受到強烈撞擊，以免發生觸電，導致故障或引發火災。
- 請勿於手部潮濕的情形下接觸本產品，以免發生觸電或人身傷害。
- 若本產品有發生故障、冒煙、異味、發熱、噪音或出現其他損壞跡象時，請停止使用本產品，並中斷與設備的連結。這種情況下，請聯繫當地的「鐵三角」經銷商。
- 請勿使本產品淋濕，以免發生觸電或故障。
- 請勿將例如易燃物、金屬、液體等異物混入本產品中。
- 請勿用布覆蓋本產品，以免因過熱而發生火災或受傷。
- 若於駕駛時使用耳機，請遵循手機和耳機使用的相關法律規定。
- 請勿於無法聽到周遭環境聲音將導致嚴重危險的地方使用本產品（例如在鐵路平交道、火車站和建築工地）。
- 如果USB充電線的端子彎曲、鬆動或損壞，請勿為電池充電。否則可能會導致發熱、冒煙、起火或觸電。
- 如有水或異物侵入充電插孔或USB充電線，請勿為本產品充電。否則可能會造成充電插孔或USB充電線腐蝕、發熱、冒煙、起火，或發生其他故障或觸電。
- 為了防止損害您的聽力，請勿以過高音量使用。長期以過大音量聆聽，可能造成暫時或永久性的聽力損害。
- 若因與產品的直接接觸，造成皮膚出現過敏現象時，請勿繼續使用。
- 勿讓手指或身體其他部位被夾入機殼與支臂的間隙或連接處。
- 使用市售的USB變壓器或行動電源充電時，請使用輸出電流為0.5A（500mA）或更高的設備。但是，請勿使用擁有快速充電功能（電壓超過5V以上）之設備為本產品充電。否則可能會導致本產品無法充電或故障。

充電電池注意事項

本產品配備有一只充電電池（鋰聚合物電池）。

- 電池液不慎誤入眼睛時，請勿揉搓眼睛。應立刻以清水（自來水等）充分沖洗，並儘速就醫診療。
- 電池液外漏時，請勿直接用手接觸液體。若液體殘留在產品內部，可能會導致故障。電池液外漏時，請聯繫當地的「鐵三角」經銷商。
  - 若不慎誤食電池液，請立刻以清水（自來水等）充分漱洗，並儘速就醫診療。
  - 若電池液附著於皮膚或衣類，請立刻以清水沖洗。若皮膚感到任何不適，請儘速就醫診療。
- 為了避免洩漏、發熱或爆炸：
  - 切勿加熱、拆解或改造電池，或丟棄至火中。
  - 請勿以釘子刺插、以鐵鎚敲打或踩踏電池。
  - 請勿使本產品掉落或受到強烈撞擊。
  - 請勿使電池受潮。
- 請勿於以下場所使用、放置或儲存電池：
  - 日照直射、高溫多濕處
  - 烈日直射下的車內
  - 暖爐等熱源附近
- 請務必使用隨附USB線進行充電，以免導致故障或起火。
- 本產品的內建充電電池無法自行更換。若電池充滿電後，使用時間顯著變短，表示電池可能已經達到使用壽命。於此情況下，請將產品送修。有關修理的詳情，請聯繫您當地的「鐵三角」經銷商。
- 廢棄本產品時，需妥善處理內建的充電式電池。有關妥善廢棄電池的方法，請聯繫您當地的「鐵三角」經銷商。

針對美國用戶
FCC宣告

警告
本裝置符合FCC規則第15部分。操作受以下兩個條件限制：(1)本裝置不得造成有害干擾，及(2)本裝置必須接受任何收到的干擾，包括可能造成不良操作的干擾。

注意
請注意，本說明書中未明確許可的任何變更或修改皆可能使操作本設備的授權失效。
註： 本設備經過測試，證明符合FCC規則第15部分的B級數位裝置之限制。此等限制旨在提供合理的保護，防止安裝於住宅區時產生有害干擾。本設備會產生、使用並可能放射無線電頻率能量，若未按照說明安裝及使用，可能對無線電通訊產生有害干擾。但是，無法保證在特定安裝條件之下，必然不會產生干擾。如果該設備確實對無線電或電視接收造成有害干擾（可以透過關閉設備後再開啟來確定），建議使用者可嘗試以下一種或多種措施，排除干擾狀況：
- 調整接收天線的方向或位置。
- 增大設備與接收器之間的距離。
- 將該設備與接收器插在不同電路的插座上。
- 洽詢經銷商或有經驗的無線電／電視技術人員，以獲得協助。

本發射器不得與其他系統中使用的其他任何天線或發射器放在同一位置或互相搭配操作。

無線電頻率暴露聲明
本裝置符合FCC針對未受控環境所設立之放射線暴露限制，並符合FCC無線電頻率（RF）暴露規範。本設備的無線電頻率能量非常低，被視為無需對特定吸收率（SAR）進行測試便符合要求。

聯絡方式：
負責公司：Audio-Technica U.S., Inc.
地址：1221 Commerce Drive, Stow, Ohio 44224, USA
電話：330-686-2600

針對加拿大用戶
加拿大創新、科學與經濟發展部（ISED）聲明
CAN ICES(B)/NMB(B)
本設備包含免授權的發射器/接收器，符合加拿大創新、科學與經濟發展部的免授權RSS的規範。操作受以下兩個條件限制：
(1)本設備不得造成干擾。
(2)本設備必須接受任何干擾，包括可能造成該設備不良操作的干擾。
本裝置符合針對未受控環境設立之RSS-102放射線暴露限制。

■ 使用上的注意事項

- 使用前，請務必閱讀所連接裝置的使用說明書。
- 使用本產品時，若發生連接裝置之儲存記憶消失等情形，本公司恕不負擔任何責任。
- 搭乘公共交通工具或處於其他公共場所時，請注意音量，避免造成他人困擾。
- 連接本產品之前，請將欲連接設備之音量調至最低。
- 於乾燥環境中使用本產品時，耳朵可能會有刺痛感。這是由於積聚在人體上的靜電所造成的，並非產品故障。
- 請勿使本產品受到強烈撞擊。
- 請勿將本產品放置於日照直射處、暖氣設備附近，高溫多濕或多塵的場所。此外，請勿讓本產品受潮。
- 本產品於使用一段時間後，有可能因為紫外線（尤其是陽光直射）和磨損而發生褪色情況。
- 若在仍連接USB充電線的狀態下將本產品放置在袋子裡，USB充電線可能會被鉤住、扯斷或斷線。
- 在插入或拔除USB充電線時，請務必握住插頭。若直接拉扯USB充電線，可能使得線材斷裂或發生意外。
- 不需使用USB充電線時，請從產品上拔除。
- 磁卡等物品請勿靠近收發器。否則可能會導致故障。
- 如果收發器連接到電腦後面的USB埠，則無線電波可能會中斷。在這種情況下，請連接到電腦側面或正面的USB埠。
- 如果在未與本產品連接的電子裝置或發射器（例如行動電話）附近使用本產品，可能會出現雜音。在這種情況下，請將本產品遠離電子設備或發射器。
- 於收音機天線附近使用本產品時，可能會在收音機訊號中看到或聽到噪訊。在這種情況下，請將本產品遠離收音機天線。
- 為保護內建的可充電電池，請每6個月至少進行一次充電。如果充電間隔時間太久，充電電池的壽命可能會縮短，或是可能無法再為充電電池充電。
- 請於通風良好的地方（10至35°C）為本產品充電，避免日照直射。否則可能造成電池劣化，連續使用壽命縮短，或無法再為電池充電。
- 如果本產品由於汗水而變濕，請在充電前用乾布擦拭濕氣。

警語
取得審驗證明之低功率射頻器材，非經核准，公司、商號或使用者均不得擅自變更頻率、加大功率或變更原設計之特性及功能。低功率射頻器材之使用不得影響飛航安全及干擾合法通信；經發現有干擾現象時，應立即停用，並改善至無干擾時方得繼續使用。前述合法通信，指依電信管理法規定作業之無線電通信。低功率射頻器材須忍受合法通信或工業、科學及醫療用電波輻射性電機設備之干擾。

■ 保養

為了能夠長久使用，請養成定期清潔本產品的習慣。清潔保養時，請勿使用酒精、油漆稀釋劑或其他有機溶劑。

- 請用乾布擦拭耳機。
- 導線使用後若有汗水或灰塵等，請用乾布擦淨。如果在髒污的狀態下使用，可能會導致導線隨時間劣化而變硬，並造成故障。
- 導線的插頭若有髒污，請用乾布進行擦拭。在插頭表面附著髒污的狀態下使用插頭，會導致聲音不穩定或失真。
- 請以清潔的乾布擦拭耳罩和頭帶。若不擦拭汗水而留下汗漬，可能導致耳罩、頭帶褪色。如果受潮，建議用乾布擦拭去除污垢後在陰涼處風乾。

- 長期不使用時，請避開高溫、潮濕處，存放於通風良好的地方。
- 耳罩可能因使用或保存情況而劣化。有關耳罩、其餘零件的更換，或其他資訊，請洽詢當地的「鐵三角」經銷商。

한국어

본 제품을 구매해 주셔서 감사합니다. 본 제품을 올바르게 사용할 수 있도록 제품을 사용하기 전에 사용설명 서를 빠짐없이 읽으십시오. 나중에 참조할 수 있도록 이 설명서를 보관하십시오.

■ 안전 주의사항

본 제품은 안전하게 사용하도록 설계되었지만 제대로 사용하지 않을 경우 사고가 발생할 수 있습니다. 안전을 위해 제품 사용 중에 모든 경고 및 주의 사항을 준수하십시오.

제품에 대한 주의사항

- 의료 장비 주변에서 제품을 사용하지 마십시오. 무선 전자파가 심장박동기와 전자 의료 장비에 영향을 미칠 수 있습니다. 의료 시설 내에서 제품을 사용하지 마십시오.
- 항공기 안에서 제품을 사용할 경우에는 항공사 지침을 준수하십시오.
- 자동문 및 화재 경보기와 같은 자동 제어 장치 근처에서 제품을 사용하지 마십시오. 무선 전자파가 전자 장비에 영향을 주어 오작동으로 인한 사고의 원인이 될 수 있습니다.
- 감전, 고장 또는 화재가 발생할 수 있으므로 제품을 분해하거나, 개조하거나, 수리하려고 시도하지 마십시오.
- 감전, 고장 또는 화재가 발생할 수 있으므로 제품에 강한 충격을 가하지 마십시오.
- 감전 또는 부상을 초래할 수 있으므로 젖은 손으로 제품을 다루지 마십시오.
- 제품 고장으로 연기, 냄새, 열, 소음이 발생하거나 다른 손상 징후가 나타날 경우 장치에서 제품을 분리하십시오. 이러한 경우 가까운 Audio-Technica 판매점에 문의하십시오.
- 감전 또는 고장이 발생할 수 있으므로 제품이 젖지 않도록 주의하십시오.
- 가연성 물질, 금속 또는 액체와 같은 이물질이 제품에 유입되지 않도록 주의하십시오.
- 과열될 경우 화재 또는 부상을 초래할 수 있으므로 제품을 천으로 덮지 마십시오.
- 운전 중에 헤드폰을 사용할 경우 휴대폰 및 헤드폰 사용에 관한 관련법을 따르십시오.
- 주변 소리를 듣지 못하면 위험한 상황이 발생할 수 있는 장소(철도 건널목, 기차역, 건설 현장 등)에서는 본 제품을 사용하지 마십시오.
- USB 충전 케이블의 단자가 구부러지거나 느슨하거나 손상된 경우 배터리를 충전하지 마십시오. 열이 발생하거나 연기가 나거나 화재 또는 감전이 발생할 수 있습니다.
- 물이나 이물질이 배터리 잭이나 USB 충전 케이블 내부에 들어간 경우에는 제품을 충전하지 마십시오. 그 경우 배터리 잭이나 USB 충전 케이블에 부식, 발열, 연기, 화재, 기타 고장이나 감전이 발생할 수 있습니다.
- 청력 손상을 방지하기 위해 볼륨을 너무 높이지 마십시오. 큰소리로 장시간 청취할 경우 청력이 일시적 또는 영구적으로 손상될 수 있습니다.
- 제품이 피부에 닿아 피부 염증이 발생한 경우에는 사용을 중단하십시오.
- 하우징 및 암 또는 내부 조인트 사이에 손가락 또는 기타 신체 일부를 물리게 하지 마십시오.
- 충전을 위해 시중에서 판매되는 USB 전원 어댑터나 보조 배터리를 사용하는 경우 출력 전류가 0.5A(500mA) 이상인 장치를 사용하십시오. 단, 고속 충전 기능(전압 5V 이상)이 있는 장치로는 충전하지 마십시오. 제품의 충전이 실패하거나 고장이 발생할 수 있습니다.

충전지에 대한 주의사항

본 제품에는 충전지(리튬 폴리머 배터리)가 내장되어 있습니다.

- 전지액이 눈에 들어간 경우 눈을 비비지 마십시오. 수돗물과 같은 깨끗한 물로 완전히 헹구고 즉시 의사의 진료를 받으십시오.
- 전지액이 누출된 경우 맨손으로 전지액을 만지지 마십시오. 전지액이 제품 안에 남아 있으면 고장의 원인이 될 수 있습니다. 전지액이 누출된 경우 가까운 Audio-Technica 판매점에 문의하십시오.
  - 전지액을 삼킨 경우 수돗물과 같은 깨끗한 물로 입 안을 완전히 헹구고 즉시 의사의 진료를 받으십시오.
  - 피부나 옷에 전지액이 묻은 경우 즉시 해당 부위 또는 옷을 물로 씻으십시오. 피부 염증이 생길 경우 의사의 진료를 받으십시오.
- 누출, 열 발생 또는 폭발이 발생할 수 있으므로
  - 전지를 가열, 분해 또는 개조하거나 불 속에 폐기하지 마십시오.
  - 전지에 못으로 구멍을 뚫거나, 망치로 두드리거나, 밟지 마십시오.
  - 제품을 떨어뜨리거나 강한 충격을 주지 마십시오.
  - 전지가 젖지 않도록 주의하십시오.
- 다음 장소에서는 전지를 사용하거나 놓아 두거나 보관하지 마십시오.
  - 직사광선이나 높은 온도 및 습도에 노출된 영역
  - 뙤약볕 아래에 있는 자동차 안
  - 난방 장치와 같은 열원 근처
- 고장이나 화재가 발생할 수 있으므로 기본 제공된 USB 케이블로만 충전하십시오.
- 본 제품의 내부 충전식 전지는 사용자가 교체할 수 없습니다. 완전히 충전된 후에도 전지의 사용 시간이 크게 줄어들 경우 전지의 사용 수명이 다 되었을 수 있습니다. 이 경우에는 전지를 수리해야 합니다. 전지 수리에 대한 자세한 내용은 가까운 Audio-Technica 판매점에 문의하십시오.
- 본 제품을 폐기할 때는 내장 충전지를 올바르게 폐기해야 합니다. 전지를 올바르게 폐기하는 방법은 가까운 Audio-Technica 판매점에 문의하십시오.

미국 소비자용 공지사항
FCC 고지사항

경고
본 장치는 FCC 규칙의 파트 15를 준수합니다. 작동은 다음의 두 가지 조건을 전제로 합니다. (1) 본 장치는 유해한 간섭을 야기하지 않거나, (2) 원하지 않는 작동을 야기할 수 있는 전파 방해를 포함한 다른 전파를 수용해야 합니다.

주의
본 설명서에서 승인하지 않는 변경 또는 개조 시 본 장비를 사용하는 사용자의 권리를 상실할 수 있습니다.
참고: 본 장비를 테스트한 결과 등급 B 디지털 장치에 대한 제한을 따르고 FCC 규칙의 파트 15를 준수하고 있습니다. 이러한 제한은 주거용으로 설치 시 유해한 간섭을 발생시키지 않도록 적절한 보호를 하기 위한 것입니다. 본 장비는 라디오 주파수 에너지를 생성, 사용 및 전파하며 설치 및 사용을 안내서에 따르지 않으면 라디오 통신에 유해한 간섭을 야기할 수 있습니다. 어떠한 경우에도 설치에서 방해가 발생하지 않는다고 보장할 수는 없습니다. 본 장비로 인해 라디오 또는 텔레비전의 수신이 방해되면(이는 장비를 껐다가 켜면 판별할 수 있음) 사용자는 다음 측정 중 하나 이상의 방법으로 방해를 바로 잡을 수 있습니다.
- 수신 안테나 방향을 돌려놓거나 위치를 다시 정하십시오.
- 장비와 수신기 사이의 거리를 더 늘리십시오.
- 수신기가 연결되어 있지 않은 다른 회로상의 콘센트에 장비를 연결하십시오.
- 판매자나 숙련된 라디오/TV 기술자에게 도움을 요청하십시오.

본 송신기는 다른 시스템에서 사용하는 안테나 또는 송신기와 같은 위치에 두거나 연계하여 작동시키지 않아야 합니다.

RF 노출 안내문
본 장치는 제어되지 않은 환경에 대해 규정된 FCC 방사선 노출 제한을 준수하고 FCC 라디오 주파수(RF) 노출 가이드라인을 충족합니다. 본 장비는 RF 에너지 수준이 매우 낮으므로 전자파 흡수율(SAR)을 테스트하지 않아도 준수하는 것으로 간주됩니다.

연락처:
담당 회사: Audio-Technica U.S., Inc.
주소: 1221 Commerce Drive, Stow, Ohio 44224, USA
전화: 330-686-2600

캐나다 소비자용 공지사항
ISED 안내문
CAN ICES(B)/NMB(B)
본 장치는 캐나다 ISED 라이선스 면제 RSS 표준을 준수하는 라이선스 면제 송신기/수신기를 포함하고 있습니다. 작동은 다음의 두 가지 조건을 전제로 합니다.
(1)본 장치는 간섭을 야기하지 않습니다.
(2)본 장치는 장치의 뜻하지 않는 작동을 야기할 수 있는 전파 방해를 포함한 다른 전파를 수용해야 합니다.
본 장치는 제어되지 않은 환경에 대해 규정된 RSS-102 방사선 노출 제한을 준수합니다.

■ 사용 시 참고사항

- 사용하기 전에 연결된 장치의 사용 설명서를 읽으십시오.
- Audio-Technica는 드문 경우지만 본 제품을 사용하는 동안 발생한 데이터 손실에 대해 어떤 식으로든 책임을 지지 않습니다.
- 대중 교통 또는 기타 공공 장소에서는 다른 사람들에게 방해가 되지 않도록 볼륨을 낮게 유지하십시오.
- 제품을 연결하기 전에 장치의 볼륨을 최소화하십시오.
- 건조한 환경에서 제품을 사용할 경우 귀가 따끔거리는 것처럼 느껴질 수 있습니다. 이는 제품 고장이 아니라 체내에 축적된 정전기에 의한 것입니다.
- 제품에 강한 충격을 가하지 마십시오.
- 직사광선 아래, 가열 장치 근처 또는 덥고 습하거나 먼지가 많은 장소에 제품을 보관하지 마십시오. 또한 제품이 젖지 않도록 주의하십시오.
- 제품을 장시간 사용할 경우 자외선(특히 직사광선)과 마모로 인해 제품이 변색될 수 있습니다.
- USB 충전 케이블이 연결된 상태에서 제품을 가방에 넣을 경우 USB 충전 케이블이 걸리거나 끊어지거나 파손될 수 있습니다.
- USB 충전 케이블을 연결하고 분리할 때는 플러그를 잡고 연결 및 분리해야 합니다. 케이블 자체를 잡아당기면 USB 충전 케이블이 끊어지거나 사고가 발생할 수 있습니다.
- USB 충전 케이블을 사용하지 않을 때는 제품에서 분리하십시오.
- 자기 카드 등을 송수신기 가까이에 두지 마십시오. 고장의 원인이 될 수 있습니다.
- 송수신기가 컴퓨터 뒷면의 USB 포트에 연결되어 있으면 무선파가 방해받을 수 있습니다. 이 경우 컴퓨터의 측면 또는 전면에 있는 USB 포트에 연결하십시오.
- 전자 장치 또는 송신기(휴대폰 등) 근처에서 제품을 사용할 경우 원하지 않는 소음이 들릴 수 있습니다. 이 경우 전자 장치 또는 송신기에서 제품을 멀리 떨어뜨려 놓으십시오.
- 라디오 안테나 근처에서 제품을 사용할 경우 라디오 신호에서 노이즈가 보이거나 들릴 수 있습니다. 이러한 경우에는 라디오 안테나에서 제품을 멀리 떨어뜨려 놓으십시오.
- 내장 충전지를 보호하려면 최소한 6개월마다 한 번씩 충전하십시오. 너무 오랜 시간 동안 충전하지 않을 경우 충전지의 수명이 줄어들거나 충전지를 더 이상 충전하지 못할 수 있습니다.
- 직사광선을 피하고 통풍이 잘되는 장소(10~35°C)에서 제품을 충전하십시오. 그렇지 않으면 배터리 성능이 떨어져 연속 사용 시간이 짧아지거나 충전이 안 될 수도 있습니다.
- 제품이 땀에 젖은 경우 충전하기 전에 마른 천으로 물기를 닦아내십시오.

■ 관리

제품의 수명이 오래 지속되도록 정기적으로 제품을 청소하여 주십시오. 청소 목적으로 알코올, 페인트신나 또는 기타 용제를 사용하지 마십시오.

- 마른 천을 사용해 헤드폰을 닦으십시오.
- 케이블을 사용한 후 땀이나 먼지가 묻은 경우 마른 천으로 닦으십시오. 케이블을 청소하지 않으면 시간의 경과에 의해 성능이 저하되고, 경화되어 고장이 발생할 수 있습니다.
- 케이블의 플러그가 오염된 경우 마른 천으로 닦으십시오. 플러그를 청소하지 않고 사용할 경우 사운드가 중단되거나 왜곡이 발생할 수 있습니다.
- 이어패드와 헤드밴드를 청소하려면 마른 천으로 닦으십시오. 이어패드와 헤드밴드에 묻은 땀이나 물이 마를 경우 색이 바랠 수 있습니다. 이어패드와 헤드밴드가 젖은 경우 마른 천으로 닦은 후 그늘에서 말리는 것이 좋습니다.

- 장기간 보관할 경우 온도와 습도가 높지 않고 환기가 잘 되는 장소에 제품을 보관하십시오.
- 이어패드는 사용이나 보관으로 인해 시간이 지남에 따라 성능이 저하됩니다. 이어패드 또는 기타 부품 교체에 대한 정보나 다른 서비스 가능 부품에 대한 정보는 해당 지역 Audio-Technica 판매점에 문의하십시오.

保証と規定について（必ずお読みください）
This warranty is valid only for products purchased and used in Japan.
Cette garantie concerne uniquement les produits achetés et utilisés au Japon.

本製品の保証は、定められた保証期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、この記載内容によってお客様の法律上の権利が制限されるものではありません。
本製品の保証は日本国内でのご購入ご使用の場合のみ有効です。
本製品には保証書は付属しておりません。ご購入の際の領収書またはレシートなどは大切に保管してください。修理の際、保証開始日の確認のためにご提示いただきます。保証期間中に、取扱説明や接続・注意書きに沿ったご使用において、故障や品質不良が発生した場合は、ご購入日より1年間を製品保証期間として無料修理（製品により無料代替）をさせていただきます。消耗・摩耗した部品、その他の付属品、および本製品や接続した機器のソフトウェアやデータなどは補償いたしかねます。製品の故障、誤動作または不具合により発生したお客様での二次損害（装置の損傷、機会損失、逸失利益等）およびいかなる損害については、当社は一切その責任を負いません。予めご了承ください。また保証期間内でも以下の場合は、製品保証は適用されません。

1. 当社が認める正規販売店以外での購入の場合。
2. ご購入年月日（保証開始時期）を証明するもの（ご購入レシートなど）がない場合。
3. ご購入後の落下・圧迫・衝撃・水没などによる損傷、変形。
4. 取り扱いの誤りによる故障。
5. 本製品以外の機器が原因となって生じた故障。
6. 当社以外で行われた修理や分解、改造で生じた故障。
7. 設置場所の移設・輸送・移動・落下などによる故障。
8. 天災、公害、塩害、ガス害、異常電圧など、不可抗力による故障。
9. そのほか当社の合理的判断に基づき有料と認められる場合。

■ 製品保証期間後について

製品保証期間経過後も、有料で修理または製品代替をいたします。本製品の基本性能を維持するために必要な部品（補修用性能部品）は、生産完了後6年をめどに保有しています。

■ サービスパーツの保証について

初期不良が認められた場合は新しいものと交換させていただきます。

■ その他

保証の期間内、期間経過後を問わず、修理・検査のために製品をお送りいただく場合は、お客様に送料をご負担いただきます。予めご了承ください。

■ お問い合わせ先（電話／平日9:00〜17:30）

製品の仕様・使いかたや修理・部品のご相談は、ご購入のお店または当社窓口およびホームページのサポートまでお願いします。

■ **お客様相談窓口（製品の仕様・使いかた）** 0120-773-417
（携帯電話などのご利用は03-6746-0211）
FAX：042-739-9120　Eメール：support@audio-technica.co.jp

■ **サービスセンター（修理・部品）** 0120-887-416
（携帯電話などのご利用は03-6746-0212）
Eメール：servicecenter@audio-technica.co.jp

■ **ホームページ（サポート）** https://www.audio-technica.co.jp/support/

Warranty (Please be sure to read the notes below.)
This warranty is valid only for products purchased and used in the USA.
Cette garantie concerne uniquement les produits achetés et utilisés aux États-Unis.

End-User LIMITED WARRANTY information for the USA is available at https://www.audio-technica.com/en-us/support/us-warranties. You may also contact Audio-Technica U.S., Inc. to request a written copy of the Limited Warranty at 1-330-686-2600 or via mail at 1221 Commerce Drive, Stow, OH 44224.

單元	限用物質及其化學符號					
	鉛 (Pb)	汞 (Hg)	鎘 (Cd)	六價鉻 (Cr^{+6})	多溴聯苯 (PBB)	多溴二苯醚 (PBDE)
外殼	−	○	○	○	○	○
電路板	−	○	○	○	○	○
配件	−	○	○	○	○	○
包裝材	○	○	○	○	○	○

備考1.〝超出0.1 wt %〞及〝超出0.01 wt %〞係指限用物質之百分比含量超出百分比含量基準值。
備考2.〝○〞係指該項限用物質之百分比含量未超出百分比含量基準值。
備考3.〝−〞係指該項限用物質為排除項目。

通信仕様/Communication specifications/Spécifications pour la communication/Kommunikationsdaten/ Specifiche di comunicazione/Especificaciones de comunicación/Especificações de comunicação/ Технические характеристики связи/通信规范/通訊規格/통신 사양	
最大RF出力/Maximum RF output/Sortie RF maximum/Maximale HF-Ausgangsleistung/ Uscita RF massima/Salida de RF máxima/Potência de saída de RF máxima/ Максимальная выходная мощность радиочастот/最大射频输出/最大無線射頻輸出功率/ 최대 RF 출력	10 mW EIRP
使用周波数帯域/Frequency band/Bande de fréquence/Frequenzband/ Banda di frequenza/Banda de frecuencia/Banda de frequências/ Диапазон частот/频带/使用頻率範圍/주파수 대역	2.402 GHz - 2.480 GHz
変調方式/Modulation type/Type de modulation/Modulationstyp/ Tipo di modulazione/Tipo de modulación/Tipo de modulação/ Тип модуляции/调制类型/調頻類型/변조 타입	GFSK

株式会社オーディオテクニカ
〒194-8666　東京都町田市西成瀬2-46-1
www.audio-technica.co.jp

Audio-Technica Corporation
2-46-1 Nishi-naruse, Machida, Tokyo 194-8666, Japan
www.audio-technica.com

©2026 Audio-Technica Corporation

Global Support Contact / Contact de support global: www.at-globalsupport.com

香港及澳門客戶聯絡資料
總代理：鐵三角(大中華)有限公司
地址：香港九龍紅磡民裕街51號凱旋工商中心第二期9樓K室
電話：+852-23569268

台灣客戶聯絡資料
進口廠商／製造廠商：台灣鐵三角股份有限公司
地址：桃園市中壢區過嶺里福達路2段322巷6號
服務專線：0800-774-488　原產地：台灣

382422700-01-01　ver.1 2026.04.01